

夢（ゆめ）

文責 校長 池田 新

－ 自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成 －

1 6月26日に「AED使用による救命救急講習会」を行いました

消防署から5名の消防士の方を招聘して学級別に教室や体育館で行いました。少人数で行ったので、理論的な講話内容を確実に聴き取り、その成果を実技に活かしている真剣な姿が見受けられました。全生徒が体験した心臓マッサージでは、**【救急隊員が到着して引き継ぐまで継続することが重要である】**と聞いていても、30 回行った生徒の感想は「大変だった。救急隊員の方が到着するまで続けることができるか不安になった。とてもきつかった。」と、心臓マッサージの大変さを実感していました。

放課後、職員のみで実際の場面を想定したロールプレイでの講習会を行いました。**現場にいる職員がどのような対応策を具体的にどのように行うのかを過不足なく時系列で明示した「アクションカード」**を用いることで不慣れでも最適な対応が可能であることを実感し、真剣に取り組むことで実際の場面で起こりうる様々な疑問や課題を消防士の方へ質問することで実践化へつなげることができました。このことは、パニックに陥ってしまいがちな場面でも、落ち着いて対応できる手段であるとの声が聴かれました。

「命」に係わる重要な講習会だったので、AEDを用いたり心臓マッサージを行ったりする救命救急の場面では、今回の経験を活かして実践してくれる川中生であると期待しています。



2 DVや性犯罪被害に関する「予防教室」を行いました

男女交際時のDV(ドメスティックバイオレンス)や性犯罪被害を予防する講演会を行いました。

1年生では「命」の大切さを学ぶために、「生命」の誕生の神秘や尊さについての講話を真剣に聞き入っていました。人が命を得て誕生する確率は3億分の1であることに驚きを感じ、受精2か月後に「心臓がトクントクンと動いていること」、3か月後には「指やつま先もわかるようになり、胃袋もできるので羊水を飲むこともできること」、4か月後には「胎盤ができて栄養をもらったり男女がわかるようになったりすること」などの話に真剣に聞き入っていました。「人」を大切にすることが高まるきっかけになったと感じました。

3年生では、男女交際において相手を大切にすることが必要不可欠であるが、世の中には本能のままに交際した結果として望まない妊娠をしたり、裸の写真を相手に送ってしまいインターネット上から一生消せなくなったりしている現実の話聞くことで、不幸な結果を招かない交際をお互いに心得る重要性を学んでいました。講師の方から

【撮るな！ 渡すな！ 求めるな！】

と示してもらった言葉の深さと重さを自分のこととして今後も生活してほしいと考えます。



3 6月15日～19日に「一学期中間単元テスト」を行いました

新型コロナ感染拡大防止のための臨時休業による授業時間確保と地区中体連（7月4・5日開催）を考慮し、中間試験の代替として「1日1教科の単元テスト」を5日間実施しました。生徒からは「1日1教科だから最終確認の勉強がし易い。」「部活動休みがないので不安である。」「部活動休みがないので中体連に向けた準備が継続して充実できる。」など様々な意見がありました。

毎日の学習を充実させること、文武両道への具体的な実践の工夫などを見つめ直す機会にする意識を喚起してくれたらと思っています。他校でも同様な実践を行っているとのことなので、功罪を踏まえながら今後の試験の在り方を検討していきたいと考えています。

※ 学校通信は川登中学校HPにおいてカラーで見ることができます

川登中学校HP・・・<http://cms.saga-ed.jp/hp/kawanobori-j/home/homeMain.do>